

現況分析(高等学校)

現状の評価

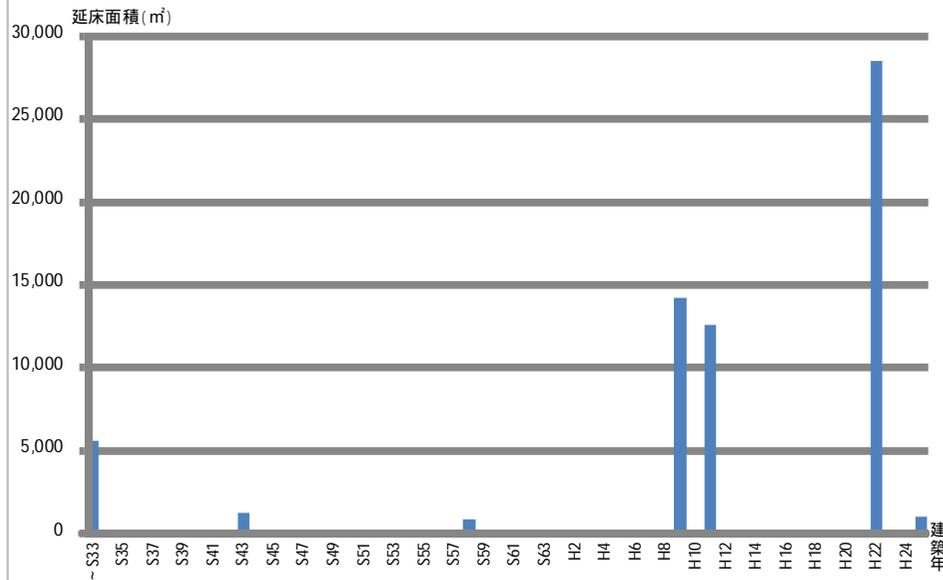
評価対象施設は3、面積は62千㎡で全体のうち5.1% を占めている。旧耐震基準の施設が1、新耐震基準の施設が2となっており、耐震対応率は100%であり、安全面では対応はなされている。

供給面では、各校とも生徒一人あたり面積は30[m²/人]前後であり、ばらつきは見られない。

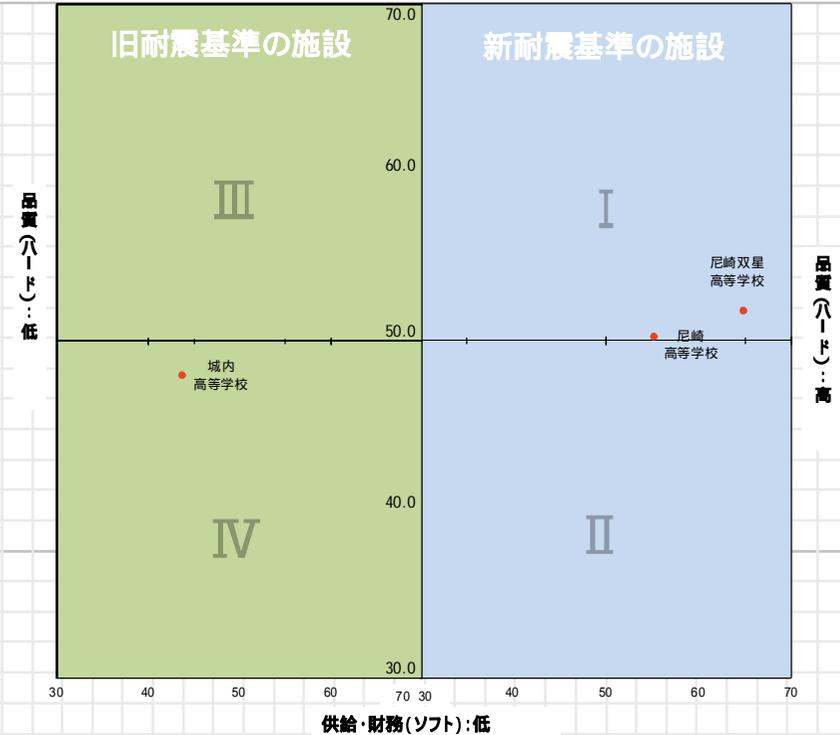
財務面では、尼崎高等学校が面積あたりの市の収支で高くなっていることから相対的な評価が低くなっている。

グループに属している城内高等学校は、充足率が75%となっており、他2校が100%であるため、相対的な評価が低くなっている。

延床面積で算出。



場合は、[MR]タブの[グリッドガイドライン]で[枠線]を消す。または、[表示]タブの[スライドマスター]から削除。



ソフト	施設数	旧耐震		新耐震		
		延床面積		延床面積		
		面積[m ²]	割合[%]	面積[m ²]	割合[%]	
50以上	0	0.00	0.0	2	55,417.00	88.3
50未満	1	7,336.00	11.7	0	0.00	0.0

平均築年数	平均耐震対応率	平均現地調査
28.5	100.0	1.71

現況分析(高等学校)

グリッドガイドラインを削除する場合は、[MRI]タブの[グリッドガイドライン]で[非表示]を選択。または、[表示]タブの[スライドマスター]から削除。

新耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	生徒一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
10053	尼崎高等学校	27,072.00	16.5	61.5	100.0	56.1	2.12	48.0	55.2	98.9	55.6	28.52	55.5	2.74	38.8	97.56	51.1	50.2	
10145	尼崎双星高等学校	28,345.00	4.0	70.9	100.0	56.1	1.00	67.4	64.8	99.3	55.9	39.75	38.5	1.86	53.3	95.80	59.4	51.8	

旧耐震基準の施設

台帳番号	施設名称	占有面積(m ²)	品質						平均偏差値(ハード)	供給				財務				平均偏差値(ソフト)	象限
			築年数(年)	偏差値	耐震対応率	偏差値	現地調査	偏差値		充足率(%)	偏差値	生徒一人あたり面積(m ² /人)	偏差値	面積あたりの市の収支(千円/m ²)	偏差値	原価率	偏差値		
10054	城内高等学校	7,336.00	64.9	25.0	100.0	56.1	2.00	50.1	43.7	75.0	38.5	28.18	56.0	1.58	57.9	100.00	39.5	48.0	

黄色い網掛けは、アンケート無記入の項目。
 城内高等学校は全面改修工事中であったため現地調査は未実施だが、
 改修工事により補強されるため現地調査結果はランク2とした。

評価指標
 品質：築年数
 耐震対応率
 現地調査
 供給：実人員 / 定員
 延床面積 / 生徒数
 財務：収支 / 延床面積
 (支出-収入) / 支出

ただし、「支出」は突発的に発生する
 「工事請負費」は差し引いた値を用いる。



凡例

- | | |
|---------------|----------------|
| ■ 衛生施設 | ● 保育所・障害児施設 |
| ● 産業振興施設 | ● 幼稚園 |
| ● 庁舎等施設・事務所 | ● 小学校 |
| ◆ 教育系研修施設 | ● 中学校 |
| ◎ 社会教育施設 | ■ 高等学校 |
| ★ 障害者施設 | ★ 青少年施設 |
| ★ 市営住宅等施設 | ★ 児童ホーム・こどもクラブ |
| ■ 高齢者施設 | ◎ その他保育施設 |
| ◆ 消防施設 | ■ 体育施設 |
| ◆ その他消防施設 | ● 集会系施設 |
| ◆ その他医療保健福祉施設 | ◆ 公園施設 |